

2014年8月13日

報道関係者各位

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム

ジャパン・プラットフォーム主催 シンポジウム 「9.11 から 13 年 ～アフガニスタンの教育現場の今を知る～」

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（東京都千代田区／以下、JPF）は、国立大学法人大阪大学大学院人間科学研究科グローバル人間学専攻と共同で、2014年9月11日木曜日に大阪大学中之島センターにてシンポジウム「9.11からの13年～アフガニスタンの教育現場の今を知る～」を開催します。

アフガニスタンは長年に渡る紛争と自然災害によって、深刻な人道危機に直面しています。治安悪化や大統領選挙による混乱もあり、人々は長い間非常に厳しい生活環境におかれています。避難生活を続けざるを得ない市民も多く、人道支援に対するニーズは依然として高い状況が続いています。



2001年の9.11以降、JPFではアフガニスタンに対して様々な支援を実施してきました。現在は2010年から続く人道支援事業5ヶ年計画を展開しており、事業開始からこれまでの4年間で約46億円の事業資金を投入し、加盟NGO9団体が現地NGOなどと連携してプロジェクトを実施。学校建設・修復158校、地雷回避教育延べ約32万人への実施、水環境・衛生改善、識字教育、生計復帰支援、女性支援など幅広い分野で活動しています。

本シンポジウムでは、現地で教育事業に携わる、公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン（CARE）よりWahidullah Wahid（ワヒドラー・ワヒッド）氏と、特定非営利活動法人ADRA Japan(ADRA)よりJavid Noori（ジャヴィード・ヌーリ）氏を迎え、同国における教育現場の生の声をお伝えします。

「現場で活動するNGOのプロフェッショナル達の声を直接聞くことができる貴重な機会です。このシンポジウムをきっかけにアフガニスタンという国をより身近に感じ、私たちに何が出来るか一緒に考える機会となればと願っています」とJPF海外事業部長 柴田裕子は述べています。

9.11 から 13 年

～アフガニスタンの教育現場の今を知る～

【概要】

日時：2014年9月11日（木）18:00～20:00

会場：国立大学法人 大阪大学 中之島センター

大阪市北区中之島 4-3-53 www.onc.osaka-u.ac.jp

定員：100人（参加費無料）

事前のお申込み：お名前、ご所属、メールアドレスを下記までお知らせください。

jpf_afghan@japanplatform.org

JPF WEB サイト シンポジウムページ www.japanplatform.org/info/2014/08/131840.html

アフガニスタン・パキスタン人道支援特設サイト afpk.japanplatform.org/

【スケジュール詳細】

1. プログラム概要紹介（5分）：ジャパン・プラットフォーム
2. 基調講演（20分）：桑名 恵 立命館大学准教授
3. アフガニスタン現地スタッフによる報告（30分）：ヌーリ氏(ADRA) / ワヒドラ氏(CARE)
4. パネル・ディスカッション（30分）：テーマ「アフガニスタンにおける教育現場の今」
モデレーター：折居徳正氏（公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO) 事務局長）
5. 質疑応答（15分）

※プログラムの内容は変更になる可能性があります。ご了承ください。

※時間の詳細は決定次第 WEB サイトにて掲載いたします。

※逐次通訳があります。

【スピーカー】

■桑名 恵（くわな めぐみ）

立命館大学准教授

大阪大学人間科学研究科博士後期課程修了 博士（人間科学）

アジア、アフリカ地域において複数の緊急人道支援、開発支援活動に従事。特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン海外事業部長、特定非営利活動法人 Health and Development Service (HANDS) アフガニスタン事務所代表、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム事業総括、お茶の水女子大学講師を経て、現在に至る。

■Javid Noori（ジャヴィード・ヌーリ）

ADRA アフガニスタン事務所 プロジェクト・オフィサー

アフガニスタンのパルワン州生まれ。学生時代はイランで難民として過ごし、大学卒業後 UNHCR、IOM などの国際機関に勤務。

2004年にアフガニスタンへ帰還し、2005年 ADRA でラジオ・オペレーターとして働き始め、現在は主に教育環境整備事業を担当。

「子どもたちの夢や希望を育てる教育支援に携わる中で、子どもたちが安心して教育を受けられている姿が私のモチベーションになっています。教育は国の再建につながると信じています。」

■Wahidullah Wahid（ワヒドラ・ワヒッド）

ケア・アフガニスタン事務所 教育プログラム・シニア・コーディネーター

アフガニスタンの復興に貢献するため、ケア・アフガニスタン事務所に就職し、14年間人道開発支援活動に従事。ケアが実施する6つの教育プログラムを統括し、男の子5300人・女の子15,000人が安全に就学できるように日々の活動をサポート。

「教育こそがアフガニスタンの平和と繁栄への鍵だと信じているので、今後も子どもの教育のために最善を尽くしたいです。」

■ ジャパン・プラットフォーム (JPF) について

特定非営利活動法人(認定 NPO 法人)ジャパン・プラットフォームは、日本の緊急人道支援の新しいしくみとして 2000 年に誕生した中間支援団体。NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的に国内外緊急支援を実施するため、単独では包括的な支援を行う財政基盤等が十分でない日本の加盟 NGO を様々な形でサポートする。設立以来、総額 310 億円、980 以上の事業、40 以上の国・地域における実績を持つだけでなく、企業と NGO の協業を促進し、支援活動報告をしっかりとすることで確かな信頼を築いてきた。各得意分野のある 49 の加盟 NGO と情報を共有し、ともに支援プロジェクトをつくる。民間から総額 80 億円以上が寄せられた東日本大震災支援では、被災県の地域連携・中間支援組織、地元 NGO をサポートし、復興への体制整備に貢献している。

■ メディア関係者のお申込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム (JPF)

広報: 高杉、小林

TEL : 03-6261-4750 FAX : 03-6261-4753

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-6-5 麹町 GN 安田ビル 4F

mail : jpf_pr@japanplatform.org Web : www.japanplatform.org

Facebook: <http://www.facebook.com/japanplatform> Twitter: @japanplatform